

## ストレプトコッカス・ピオゲネス由来のエンドグリコシダーゼS、組換え型

Cat. No. NATE-1603

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** エンドグリコシダーゼSは、IgGのFcドメインに付着したN-グリカンに特異的です。N-グリカンは最初のGlc-Nacの後で切断されます。反応は穏やかで、生理的条件下で迅速に進行し、補因子や界面活性剤を必要としません。この酵素は、溶液中に他の糖鎖修飾されたタンパク質が存在していても、IgGのFcドメインからのみグリカンを加水分解します。

**別名** エンドグリコシダーゼ S; IgGZERO

### 製品情報

<b>種</b>	ストレプトコッカス・ピオゲネス
<b>由来</b>	E.coli
<b>外形</b>	白から淡い黄色の粉
<b>形態</b>	保存料無添加の凍結乾燥粉末
<b>分子量</b>	110 kDa
<b>純度</b>	> SDS-PAGE分析によって決定された95%の均一性。
<b>最適pH</b>	6.5-7.5
<b>緩衝液</b>	pH 7.4、37°Cの cleavage buffer は最適な酵素活性を示します。pH 6-8 の範囲の多くのバッファーが使用可能ですが、酵素をフルスケールで使用する前に、反応条件を少量でテストする必要があります。
<b>単位定義</b>	1ユニットは、37°Cで30分間、10 mMリン酸ナトリウム、150 mM NaCl、pH 7.4でインキュベートすると、1µg IgGの95%以上を消化します。

### 保管・発送情報

<b>保存方法</b>	-20°Cで
<b>安定性</b>	酵素は水を加えることで再構成され、再構成後は+4-8°Cで1ヶ月間安定しています。酵素は分注され、-20°Cで少なくとも6ヶ月間保存できます。製品は常温で発送されますが、到着後は-20°Cで保存する必要があります。